

【参考図書】

厚労省が研究班を立ち上げて、本研修事業について議論を重ねた過程で作上げられたものです。本研修会では、各講師の作成した資料を使ってそれぞれの講習を行います。資料作成段階で下記書籍の内容を盛り込みつつ、神奈川県状況に合わせた内容にいただいています。

「医療的ケア児等支援者養成研修テキスト」

<https://www.chuohoki.co.jp/products/welfare/5473/>

著者：末光茂、大塚晃
出版社：中央法規
価格：3,240円（税込み）



目次

- 第1章 総論
 - ・医療的ケア児等支援の特徴
 - ・支援の根底にある考え
- 第2章 医療
 - ・障害のある子どもの成長と発達の特徴
 - ・疾患の特徴
 - ・生理
 - ・日常生活における支援
 - 特徴と重要な合併障害への医学的理解を日常生活支援
 - ・救急・準救急時の状態・症状・対応
 - ・訪問看護の仕組み
- 第3章 福祉
 - ・支援の基本的枠組み
 - ・医療的ケア児等と制度
 - ・遊び、子どもらしさ、保育
 - ・医療的ケア児等の家族支援
 - ・医療的ケア児等の生活と虐待
- 第4章 連携
 - ・小児在宅医療における多職種連携
 - ・連携・協働の必要性
- 第5章 ライフステージにおける支援
 - ・各ライフステージにおける相談支援に必要な視点
 - ・NICUから在宅に移行する子どもたち
 - ・児童期における支援
 - ・学齢期における支援
 - ・成人期における支援
 - ・医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援
- 第6章 資料
 - ・在宅医療的ケア児等サポートブック